

第88次東北ボランティア 稲刈り

代表 村上 裕隆

オニヤンマが飛ぶ宮城県石巻市渡波の田んぼで7回目の稲刈りです。自然豊かなところに長浜幼稚園の年長組41名が、田んぼに來たとたん声を上げました。5月にトロトロ層づくり、田植えをした場所に見違えるほど立派な黄金色の稲穂が成長していたからです。稲刈りし、稲穂をわらでしばって束をつくります。つづいて、「稲架掛け」に天日干しをします。自然と一緒に遊んだ園児たちは楽しそうでした。

園児たちが稲刈りするためには、あぜの雑草を前もって刈ってくださいった亀山繁さん、はさかけのための杭を保原政美さんが打ち込んでくださいました。渡波の地域の

皆様のご協力がなければ神戸国際支縁機構だけではおいしいお米をつくることはできません。

ボランテイ

アにはパン
ク、脱輪、通
行止めは日常
茶飯事です。

19
日（水）
早

朝に天日干し

を続行するこ

とになりました

た。



やせ細ったタキフ・ワレちゃん

バヌアツ国ポートビラ市のタキフ・ワレちゃん（Takifu Ware 6歳 2012年6月23日）は心臓の病のため急速に衰弱。バヌアツには心臓専門医が見つかりません。「力アヨ子基金」は募金活動を決定しました。アメリカの手術ができる病院に連れて行きます。滞在費、交通費、医療費を合わせると2億円を越えると思されます。

みなさまの応援をお願いします。



初めて地球を一回りした日本人
 石巻若宮丸物語 ④

阿部 和夫

プロフィール

1938年宮城県石巻市生。石巻小学校校長
1999年退職。石巻市教育委員会教育長（1999
（2008））。

吉郎次の死

一行の中で、最年長者は、七十三歳になる水主頭の吉郎次でした。彼は、遭難と漂流、寒さの地での生活も、故郷に帰りたい一心で行方についてきましました。しかし、彼は、寢床から起き上がれない程に弱っていました。

一七九九年三月のある日、彼は、「話しておきたいことがあるので、仲間全員を集めて欲しい」と津太夫に頼みました。そこで、これまで疎遠になっていた二つのグループ全員が吉郎次枕元に集まりました。

自分の死期を悟った吉郎次が語ったのは、両者の和解を勧める言葉でした。自分達は様々な困難を乗り越えて生き延びてきた仲間だ。ロシア人になつて樂をさせている人がいていいではないか。大事なものは、自分達は仲間だったことだ。その仲間の協力無しには日本に帰ることも出来ない。俺たちは仲間だ。ということをお忘れないでくれという吉郎次の言葉に、全員が涙をながし、かつて苦樂を共にしてきた仲間意識を取り戻し、手を握り合い肩を抱き合つて、互いに詫言ひ謝りました。

佐平が代表して、心配をかけたことを詫び、仲直りした姿を吉郎次に見せました。安心した吉郎次は、最後の力を振り絞って語りました。

「何とか故郷に帰りたい一心で、このたびの道中も
口をくいしばって皆の衆についてきました。思えば
口惜しいことですが、この地で果てるのも私の運命
だったのでございましょう。私の魂は一足先にお国
に帰りますが、皆の衆も体をいとい、必ず達者で故
郷に帰って下さい。そして、私が死ぬまで故郷の小
竹浜を夢みていたことを、家族や浜の衆に伝えて下
さい。仲間衆にもお世話になりました。御恩は決し
て忘れません。本当に有難うございました。」
彼は、望郷の念と帰れぬ無念さ、故郷の家族に伝
えて欲しい心情を吐露した後、言葉にならず只々
泣くばかりでした。

寒さが一段と胛身にこたえる日の夕方、吉郎次は、ひっそりと息を引きとりました。その夜、残った仲間には米で一膳飯を炊き小麦の粉で団子を作り、枯れた蓬で香らしたものをくるなど、出来るだけ故郷のしきたりのようにして、枕元に供えたのでした。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamagohada.co.jp

(株)吉原金属

神戸市北区道場町塩田2082

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本田商会

〒662-0051 西宮市羽衣町 5-23

電話：0798-38-7560

F A X : 0798-38-7561

お気軽にご相談ください。

(有)吉田興業

神戸市兵庫区湊町1-1

西日本豪雨ボランティア

事務局 長 本田 寿久

奈良時代の日本を代表する学者吉備真備「695-775」の出身地で、今年大きな被害が出ました。

「自分はいじょうぶ」と考えるのは、若い人より、人生経験が豊かな人たちの方に多いようです。2011年、3月11日の東日本大震災の押し寄せる津波に対して、「チリの時だって、だいたいようぶだったべ」と家族に言って、逃げなかった人たちがいます。今年、7月7日、妹尾笑美子さん（94歳）は岡山県倉敷市真備町箭田の新築の家に住まわられています。「大丈夫じゃろ」と考え、自宅にとどまっておられました。29歳の同居のおいが屋根の上に押し上げて、消防士の救命ボートで助け出されました。51人が亡くなられた真備町の多くの方は60代以上でした。溺死が原因です。箭田地域は海の近くではありません。突如として6メートルを超える洪水が襲ったのです。500人以上が亡くなった宮城県石巻市渡波の津波の場合、一階はもぬけの殻になるほど被害は激しかったです。避難所にはゆとりがありませんでした。すき間だらけの2階で暖もなかったが、過ぎられた被災者をたくさん見かけました。

真備の地域でも人生経験が豊かな人たちほど、ご自分の知識、体験、地域の安全宣言から判断してしまうのです。

「超高耐久性コンクリート」と言えども、中性化、鉄筋の腐食、ひびわれ、強度劣化、表面劣化、漏水、部材の大たわみを免れることはできません。80年ではありません。一方、自然石、岩を用いた工法の耐久性を見直すべきでしょう。砂防ダム完成で安心した犠牲者も少なくありませんでした。

防潮堤、山間部トンネル、ダムはいずれも人災をもたらすもろい材質によって作り上げられています。真備町の小田川決壊ばかりが報道されました。本流は高梁（旧成羽）川です。上流に成羽川ダムがあります。日本有数の水島工業地域の工場用水確保のために造られた貯水ダムです。7月7日の高梁川の増水、死者、流域の被害についてはあまり知られてはいません。

神戸国際支縁機構は災害直後の7月8日から第二福田小学校で炊き出しをさせていただきました。10月末までに8回にわたり、東北ボランティアのこれまでの参加者、松本真祐さん、土手ゆき子さんや、機構の支縁者岡本卓也氏、神戸市東遊園地（神戸市役所隣）の毎週の炊き出しで親しくなった堀浩一さん、田村晋作さん、楠元翔子さんたちと連帯して、大島健二郎熊本支部長や機構の事務局のメンバーたちは、傾聴ボランティア、がれき撤去などに汗を流してきました。五百井正浩理事も現場に立ち寄ってください、感謝しています。救援金、差し入れ、延べ人数58名です。一回に平均7名です。

1)「第1次西日本豪雨ボランティア報告」(岩村義雄 2018年7月15日) <http://kiskobe.sub.jp/article/12172/>



救援物資提供 伴真里奈さん（東北ボランティア第22次）

講座などの案内

●本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日 午前10時～正午
神戸市勤労会館 404号室
※12月のみ 12月14日(第2金曜日)
ですからご注意ください。

●聖書のことば

毎月最終月曜日 午後6時半～8時
ミント神戸17階 講師：岩村義雄
※12月のみ 12月17日(第3月曜日)
ですからご注意ください。

編集後記

5年目になる丹波水害ボランティアの炊き出しを担う神戸国際支縁機構の責任者として兵庫県市島町に訪問させていただきました。プロパン、コンロ、大鍋や、具材を持ち込んで「ひなたぼっこ」で、野外礼拝の後、鹿肉カレーの提供です。阪神・淡路大震災の時、若かった仏教青年会の方々も40代の住職であり、おいしい回転焼きを作っておられました。「宗教みたい」とスポーツのパワハラ騒動で言われるほど、日本は無宗教が当たり前ですけれど、宗教者の底力は災害時に「縁の下」の力を発揮すると思わせられました。

「カヨ子基金」支縁者 宮田佳典



丹波炊き出し 2018年10月21日

救援金、維持会費ご協力感谢您。(敬称略)

2018年7月22日～10月20日

オオハタナオユキ (2)、植地優子、福音伝道教団本庄キリスト教会、神戸聖福教会 (3)、上野清次郎、久留島琴 (2)、オリーブの木キリスト教会、市川啓一、白瀬小一郎、石川満澄、石川久子、忠内一由 (3)、忠内有紀 (3)、廣瀬素子、水谷弥生 (2)、尾関マユミ、辻良雄、住谷圭造、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、賀内寛太郎、森川 甫、千田豊徳 (宮城県石巻市光蔵寺住職)、保田 薫、袴田康裕、有限会社吉田興業、吉田 明、池永タケコ、酒巻美和子、柴田正生、菊池則子、酒井 彰、酒井久美子、豊島睦子、河村ひとみ、張 賢徳、谷合公江、櫻井由里子、中山圭子、高橋一正 (3)、観音寺 (三鷹市)、宮坂信章、村上安世 (2)、栗原 健、島内奈央、藤丸秀浄 (法専寺住職)、的野慶子、松本 誠、池田裕子、矢田立郎、坂井良行 (高野山真言宗西方院)、三橋理江子、鄭恵姫、石巻祥心会、穴戸義光、中道澄春、山下妙子、「小さくされた人々のための福音」講座 (3)、弓矢健児、加藤賢宗 (石巻市浄音寺住職)、福岡真悟、福岡ウィルシー、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、守屋香代子、鍋島 隆、古本泉夫、古本愛子、柳澤 豊、高島邦夫、小島千鶴、吉保正光、内本光一、有川純子、福井重男 (2)、福井昌子 (2)、鈴木敏夫、徳留由美、土手ゆき子、辻良雄、池田春子、朝日泰治、朝日華子、白瀬小一郎、本田すみ代、舟橋葉子、東垂ルルーテル教会 (2)、遠藤トシ江 (宮城県石巻市)、森田一生、古川和子、古川直子、阿部純子 (宮城県石巻市)、白方誠彌、野添宗英、野添澄、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、小島千鶴、土手ゆき子、藤丸秀浄 (法専寺住職)、辻良雄、東洋ローア・キリスト伝道教会前橋伝道所、柳澤 豊、ホームチャペル・キリストの花嫁、藤丸秀浄 (法専寺住職)、日本基督教団戸屋三条教会、遠藤トシ江 (宮城県石巻市)、池田春子、大久保和代、金 貴順、藤 玄洋 (朝倉市西宗寺住職)、保田 茂、石川満澄、石川久子、楠元留美子、匿名

598,000円

フードバンク関西、鳥取県八頭教会の赤川祥夫牧師からタオルが送付されています。五百井正浩 (真宗大谷派玉龍寺住職) 理事は神戸市北区の道場町からたくさんの飲料水、山下 寛&弘美 ご夫妻がそうめん、河村ひとみ (第62次) さまが事務所にたくさんの支縁物資もご送付くださいました。チュチュアンナ上田利昭社長から1000足の靴下、松本真祐兄からテント、感謝。

西日本豪雨

水谷弥生、山本 桂、岩間 洋、岩間千恵子、白方誠彌、久留島琴、上野清次郎、福音伝道教団 本庄キリスト教会、神戸聖福教会、白瀬小一郎 (2)、オリーブの木キリスト教会、石川満澄、石川久子、廣瀬素子、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、賀内寛太郎、住谷圭造、袴田康裕、酒井 彰、酒井久美子、池永タケコ、酒巻美和子、菊池則子、豊島睦子、河村ひとみ、櫻井由里子、中山圭子、観音寺 (三鷹市)、宮坂信章、村上安世、栗原 健、島内奈央、藤丸秀浄 (法専寺住職)、的野慶子、松本 誠、池田裕子、矢田立郎、坂井良行 (高野山真言宗西方院)、三橋理江子、鄭恵姫、石巻祥心会、穴戸義光、中道澄春、神戸キリスト教書店、高橋一正 (2)、「小さくされた人々のための福音」講座 (2)、弓矢健児、池田春子、加藤賢宗 (石巻市浄音寺住職)、福岡真悟、福岡ウィルシー、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、小島千鶴、柳澤 豊、土手ゆき子、辻良雄、朝日泰治、朝日華子、東垂ルルーテル教会、東洋ローア・キリスト伝道教会前橋伝道所、遠藤トシ江 (宮城県石巻市)、藤 玄洋 (朝倉市西宗寺住職)、匿名

708,961円

北海道

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、オオハタナオユキ (2)、植地優子、白瀬小一郎、本田すみ代、神戸聖福教会、内田周作、舟橋葉子、東垂ルルーテル教会、忠内一由、忠内有紀、久留島琴 (2)、遠藤トシ江 (宮城県石巻市)、廣瀬素子、古川和子、古川直子、森田一生、高橋一正、「小さくされた人々のための福音」講座、白方誠彌、日本基督教団戸屋三条教会、オリーブの木キリスト教会、匿名

735,600円

カヨ子基金

植地優子、岩間 洋、岩間千恵子、白方誠彌、辻良雄、有限会社吉田興行、吉田 明、豊島睦子、宮坂信章、的野慶子、池田裕子、鄭恵姫、守屋香代子 (2)、山本 桂、袴田康裕、福岡真悟、福岡ウィルシー、山下妙子、高橋一正 (3)、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、古本泉夫、古本愛子、高島邦夫、「小さくされた人々のための福音」講座、柳澤 豊、観音寺 (三鷹市)、池田春子、大久保和代、遠藤トシ江 (宮城県石巻市)、廣瀬素子、楠元留美子

451,200円

インドネシア地震・津波

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、辻良雄、白瀬小一郎、水谷弥生、忠内一由、忠内有紀、藤丸秀浄 (法専寺住職)、ホームチャペル・キリストの花嫁、野添宗英、野添澄、金 貴順、神戸聖福教会、高橋一正、楠元留美子、石川満澄、石川久子、「小さくされた人々のための福音」講座

194,635円

救援金 松末 (ますえ)、西日本、北海道、インドネシア、シリアなど地域、国を郵便振替用紙の余白にお書きください。